

FIRE SPIRIT 三原市消防団 広報誌

放水技術指導会を実施しました!



審査員も頑張りました!



審査員長
副団長 久保誠

令和二年一月一日(日)、沼田川防災センターにて三原市消防団放水技術指導会が行われ、三原市消防団の三十分団が日頃の訓練で培った技を存分に発揮し、俊敏かつ勇壮な放水を実施しました。

放水技術指導会は、訓練指導員による厳しい審査を行い、団員の災害対応力強化を図ることを目的とし、さらには、審査員が選び抜いた四分団による放水技術を三原市消防出初式において市民の皆様披露させていたたく予定でもありました。

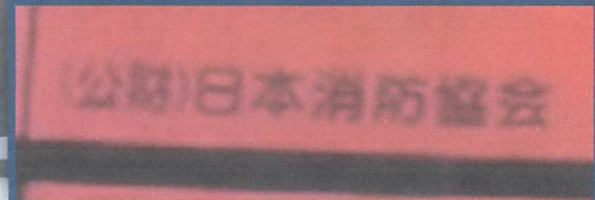
しかし、残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため消防出初式を中止としなくてはならず、楽しみにしておられた方々には誠に申し訳なく感じております。

とは言え、三原市消防団はコロナ禍であっても日々の訓練や消防資機材の点検整備を怠っておりません。

新型コロナウイルス感染症が収束した暁には、さらにレベルアップした消防団の連帯感と引き締まった動きをご覧に入れますので、どうかその時をお待ち下さいますようよろしくお願い致します。



(公財)日本消防協会から車両の交付を受けました!



令和二年十二月三日(木)、公益財団法人日本消防協会から三原市消防団に車両が交付されました。

日本消防協会では、消防団の防災力の充実に資することを目的に全国の消防団に車両の交付を行っており、今回、三原市消防団が交付対象に選ばれたことは幸運なことであり、大変感謝しております。

この車両は団広報車として三原市消防団本部に配備し、火災発生時には緊急車両として人員輸送や消火・救助資機材の搬送、平時には防火・防災の広報など幅広い運用を行います。

また、新たな団広報車は機動性にも優れており、台風や豪雨といった大規模な自然災害発生時には「命を守るための避難広報や避難誘導」など、その能力を十分に発揮させていきます。

施設部長
副団長
大西 和夫

令和2年度コミュニティ助成事業による資器材整備が完了しました!

チェーンソー
(チェーンソー防具)

チェーンソー



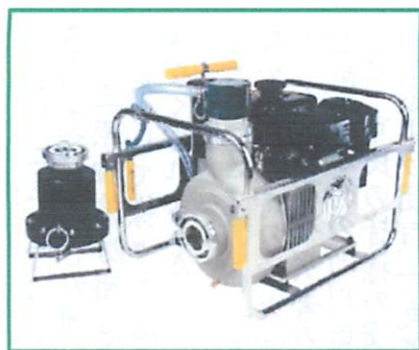
一般財団法人自治総合センターが宝くじの収益を財源として、消防団の装備の拡充を図る目的として必要な資機材購入費を助成しています。

令和2年度、宝くじの助成金で三原市消防団が総額九十万円分の資機材(チェーンソー及びチェーンソー防具)を整備しました。

これにより、災害対応力が大きく強化されました。



総務省消防庁から水防資器材の無償貸与を受けました！



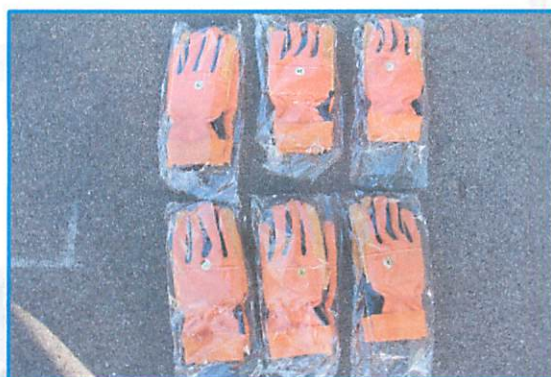
排水ポンプ（1台）

副団長 榎本 克明

副団長 沖野 克巳

令和三年二月十九日（金）、三原市は、総務省消防庁から「水災用器具、水難救助用器具及び安全装備品」の無償貸与を受けました。消防団は火災での消火活動だけでなく、地震、大雨、台風、高潮、土砂崩れなど、あらゆる自然災害から市民の皆様の生命と財産を守るために活動しており、この度の無償貸与は、平成三十年七月豪雨を経験したことから大変心強く感じています。今後、台風などの自然災害は気候変動により激甚化・頻発化することが予測されます。「備えあれば憂いなし」の格言どおり、貸与された資器材は常に万全の状態を維持し、その性能を十分発揮できるように日々訓練を重ねることで、市民の皆様の期待にこたえていきたいと思えます。

防塵メガネ（6着）



対切削性手袋（6双）

チャップス（チェーンソー防具）（1着）



消防団の活動をお話しました！！

地元の小学校の皆さんが消防団施設の見学に来てくれました！
地元を守る消防団のことを少しでも知ってもらえたら嬉しいですし、近い将来、一緒に消防団で活動できたらもっと嬉しいですよ！

※資器材の写真は一部です。その他に救命胴衣や防塵マスクなども貸与されました。



令和2年度三原市消防団活動総括

警察と連携した行方不明者の捜索活動



三原市消防団長
岡本 茂

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症感染との闘いの日々でもあり、三原市消防団は感染拡大防止対策として様々な活動の中止を余儀なくされました。

このように難しい一年ではありましたが、火災時の消火活動はもちろんのこと、行方不明者の捜索や梅雨や台風襲来時の河川監視・潮位警戒など、市民の皆様の安心安全に貢献できるよう団員一丸となって頑張ってきました。

団員の減少・高齢化など消防団をとりまく環境は決して明るいものではありませんが、今後も市民の皆様のため団員一同、全身全霊を捧げ尽くして参る所存です。



崩落箇所へのシート張り



水防活動
(土嚢作り)

水防活動
(土嚢積み)

～消防団員を募集しています～



- Q** 消防団員は非常勤の公務員です。このため、災害対応時の負傷は公務災害として扱われます。
- Q** 消防団ってボランティアとは違うの？
- A** 地元に暮らす男性しか入団できないの？
- A** 仕事で三原に来ている方も入団できます！（勤務地団員）女性も女性分団員として広報・救命講習で活躍中です！
- Q** OBでもなにか協力できませんか？
- A** 退団団員としての入団をご検討ください。豊富な経験を活かして災害活動への協力をお願いします。
- Q** 引越してきたばかりで誰に入団希望を言えばいいかわかりません…。
- A** 消防本部警防課までご連絡ください。地元分団と調整をいたします！連絡先はコチラ←

【発行先】

三原市消防本部警防課
〇八四八―六四―五九二四



キリ子の部屋



一部のファンの声にお応えしてコロナに負けず復活しました！

去年はコロナの影響で私たちの生活が大きく変わりました。とはいえ、火事が起これば火を消さないといけません。

迅速な消火のため、機械器具の点検・整備、放水訓練は欠かせません。

三原市消防団も情勢にあわせ、対策を講じています。

少人数で密にならないよう、短時間で自分だけがコロナの保菌者であり、他人にうつしてはいけないと考えて行動しています。

あとは、各自手洗い・うがいで予防しています。

基本的な事を日々大事にして、危機管理・安全管理をしっかりと、強い消防団、安心して頼られる消防団をめざします！

